

平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年9月30日

上場会社名 株式会社きょくとう 上場取引所 東  
 コード番号 2300 URL http://www.cl-kyokuto.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧平 年廣  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 安武 浩 (TEL) 092-503-0050  
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月14日 配当支払開始予定日 平成28年11月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第2四半期の業績(平成28年3月1日～平成28年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第2四半期	3,961	△1.3	502	41.7	543	36.6	313	30.6
28年2月期第2四半期	4,011	△3.0	354	△15.5	397	△13.8	239	△29.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年2月期第2四半期	56.53		—					
28年2月期第2四半期	43.27		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第2四半期	5,485	3,929	71.6
28年2月期	4,993	3,645	73.0

(参考) 自己資本 29年2月期第2四半期 3,929百万円 28年2月期 3,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	5.50	—	5.50	11.00
29年2月期	—	5.50			
29年2月期(予想)			—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	3.4	257	84.1	350	52.1	204	269.7	36.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年2月期2Q	5,551,230株	28年2月期	5,551,230株
② 期末自己株式数	29年2月期2Q	9,681株	28年2月期	9,681株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年2月期2Q	5,541,549株	28年2月期2Q	5,541,644株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、英国のEU離脱問題による金融市場の動揺、新興国経済の減速などを背景とした株式市場の低迷や円高により企業業績は伸び悩み、景況感は未だ大きく回復するには至っておりません。また、先行きの不透明性から一般消費者の消費活動についても、依然として低迷から脱し切れない状態が続いております。

当クリーニング業界におきましては、消費者の節約志向が続く中、前年並みのクリーニング総需要が予想されてきましたが、例年になく8月に続けざまに台風の直撃を受けるなど全国に亘る天候不順により、お客様の動向にも影響を受ける形となりました。

このような状況の中で当社は、お客様の利便性と満足度の向上及び品質と生産性の向上に取り組みました。

営業面においては、平成28年3月1日に車社会でのお客様の利便性に応え、新たにドライブスルー店を福岡県久留米市にオープンしました。また、春の衣替えシーズンには、販促活動として大人気キャラクター「妖怪ウォッチ」とのタイアップ企画を4月から6月まで実施し、大人も子供も一緒に家族で楽しめるプレゼントキャンペーンを展開しました。

生産面においては、新機材として人体フォーマー(上着立体仕上げ機)を導入し、全工場・プラントに配備しました。これにより、安定した仕上品質の確保と工場の生産効率の向上が見込めるようになり、人件費等の削減に繋げることができました。

投資面においては、平成28年4月1日付で事業の一部譲受けにより大阪府堺市に1工場10店舗を取得しました。

店舗政策は、新規出店として新たに26店舗(うち10店舗は平成28年4月1日付事業の一部譲受けで取得した店舗)を出店しましたが、不採算店の閉鎖や取次店オーナーの高齢化に伴う閉鎖により35店舗を閉鎖し、当第2四半期累計期間末の店舗数は688店舗(前事業年度末に比べて9店舗の減少、前年同四半期累計期間末に比べて32店舗の減少)となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、前述の通り店舗数が前年同四半期累計期間末に比べて32店舗減少したことや天候不順が影響し、売上高は3,961,364千円と前年同四半期と比べ50,579千円(1.3%)の減収となりました。

利益につきましては、設備投資による費用が増加したものの、工場・プラントにおける生産性改善の継続した取り組みと不採算店の閉鎖や営業時間の見直しにより売上原価及び販売費及び一般管理費が縮小した結果、営業利益は502,980千円と前年同四半期と比べ148,059千円(41.7%)の増益、経常利益は543,257千円と前年同四半期と比べ145,428千円(36.6%)の増益、四半期純利益は313,289千円と前年同四半期と比べ73,492千円(30.6%)の増益となりました。

なお、当社の属するホームクリーニング業界は、通常の場合、春の衣替えの時期に重衣料が洗濯物として出されるため春場に最需要期を迎えます。したがって、当社の売上高は、第1四半期に偏る傾向があり、四半期の業績に季節的変動があります。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて406,492千円増加し、1,889,394千円となりました。これは、現金及び預金が411,424千円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて85,375千円増加し、3,596,078千円となりました。これは、無形固定資産が63,396千円、有形固定資産が18,825千円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて491,867千円増加し、5,485,472千円となりました。

### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて184,084千円増加し、961,449千円となりました。これは、未払法人税等が169,433千円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて23,735千円増加し、594,077千円となりました。これは、長期借入金が31,028千円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて207,819千円増加し、1,555,527千円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて284,048千円増加し、3,929,944千円となりました。これは、利益剰余金が282,810千円増加したことなどによります。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度に比べ441,211千円(57.2%)増加し、当第2四半期累計期間末には1,212,677千円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は、567,997千円(前年同四半期累計期間比40.9%増)となりました。

収入の主な内訳は、税引前四半期純利益538,308千円、減価償却費58,186千円などであり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額54,706千円などです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果使用した資金は、134,547千円(前年同四半期累計期間比1,780.1%増)となりました。

収入の主な内訳は、定期性預金の払戻による収入355,323千円などであり、支出の主な内訳は、定期性預金の預入による支出325,536千円、事業譲受による支出108,792千円などです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果得られた資金は、7,761千円(前年同四半期累計期間は120,984千円の支出)となりました。

収入の内訳は、長期借入れによる収入120,000千円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出64,972千円、配当金の支払額30,541千円などです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期の業績予想につきましては、平成28年4月15日に発表した業績予想と同じであり、変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ2,861千円増加しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成28年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,276,402	1,687,827
売掛金	59,723	66,686
商品	25,663	25,706
原材料及び貯蔵品	23,317	22,818
前払費用	71,555	71,096
その他	33,685	22,707
貸倒引当金	△7,447	△7,447
流動資産合計	1,482,901	1,889,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	506,855	506,653
土地	1,934,469	1,934,469
その他(純額)	91,628	110,656
有形固定資産合計	2,532,954	2,551,779
無形固定資産		
のれん	43,119	104,422
その他	69,090	71,183
無形固定資産合計	112,209	175,606
投資その他の資産		
差入保証金	547,719	549,985
その他	317,819	318,706
投資その他の資産合計	865,539	868,692
固定資産合計	3,510,702	3,596,078
資産合計	4,993,604	5,485,472
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	28,909	31,906
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	109,944	133,944
未払金	339,866	318,203
未払法人税等	70,620	240,053
賞与引当金	22,318	17,857
資産除去債務	145	730
その他	105,561	118,753
流動負債合計	777,364	961,449
固定負債		
長期借入金	103,564	134,592
退職給付引当金	126,370	124,177
役員退職慰労引当金	124,038	110,694
資産除去債務	102,881	103,056
その他	113,488	121,558
固定負債合計	570,342	594,077
負債合計	1,347,707	1,555,527

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成28年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,973	395,973
利益剰余金	2,704,445	2,987,256
自己株式	△3,204	△3,204
株主資本合計	3,652,307	3,935,118
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,410	△5,173
評価・換算差額等合計	△6,410	△5,173
純資産合計	3,645,896	3,929,944
負債純資産合計	4,993,604	5,485,472



## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
売上高	4,011,943	3,961,364
売上原価	1,151,337	1,090,310
売上総利益	2,860,606	2,871,053
販売費及び一般管理費	2,505,686	2,368,073
営業利益	354,920	502,980
営業外収益		
受取利息	530	150
受取配当金	582	538
受取家賃	20,356	20,427
その他	23,785	21,065
営業外収益合計	45,255	42,181
営業外費用		
支払利息	1,411	1,053
貸借契約解約損	-	540
その他	934	311
営業外費用合計	2,346	1,904
経常利益	397,829	543,257
特別利益		
固定資産売却益	-	1,018
投資有価証券売却益	10,604	-
特別利益合計	10,604	1,018
特別損失		
固定資産売却損	245	-
固定資産除却損	2,334	5,967
和解金	165	-
特別損失合計	2,744	5,967
税引前四半期純利益	405,688	538,308
法人税等	165,891	225,019
四半期純利益	239,796	313,289

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	405,688	538,308
減価償却費	66,158	58,186
のれん償却額	6,869	14,499
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,634	△2,193
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△340	△13,344
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,404	△4,461
受取利息及び受取配当金	△1,113	△688
支払利息	1,411	1,053
売上債権の増減額(△は増加)	△8,336	△6,962
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,749	456
仕入債務の増減額(△は減少)	5,086	2,996
投資有価証券売却損益(△は益)	△10,604	-
固定資産売却損益(△は益)	245	△1,018
固定資産除却損	2,334	5,967
未払消費税等の増減額(△は減少)	△33,611	13,662
その他の資産の増減額(△は増加)	33,404	8,564
その他の負債の増減額(△は減少)	△18,657	7,922
小計	452,515	622,949
利息及び配当金の受取額	1,237	818
利息の支払額	△1,377	△1,065
法人税等の支払額	△49,219	△54,706
営業活動によるキャッシュ・フロー	403,154	567,997
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期性預金の預入による支出	△325,323	△325,536
定期性預金の払戻による収入	355,093	355,323
事業譲受による支出	-	△108,792
有形固定資産の取得による支出	△44,089	△63,541
有形固定資産の売却による収入	500	861
有形固定資産の除却による支出	-	△1,570
出資金の回収による収入	50	-
投資有価証券の取得による支出	△238	△108
投資有価証券の売却による収入	16,042	-
貸付けによる支出	△670	-
貸付金の回収による収入	50	230
差入保証金の差入による支出	△24,715	△6,984
差入保証金の回収による収入	16,144	15,571
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,156	△134,547
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	120,000
長期借入金の返済による支出	△64,988	△64,972
リース債務の返済による支出	△14,460	△16,725
自己株式の取得による支出	△16	-
配当金の支払額	△41,519	△30,541
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120,984	7,761
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	275,014	441,211
現金及び現金同等物の期首残高	851,965	771,466
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,126,979	1,212,677

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ホームクリーニング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。